

横山幸次

区政報告
ニュース

No. 381

2010年4月11日

発行 日本共産党区議団

Tel 3802-4627

fax 3806-9246

E-mail: arajcp@tcn

-catv.ne.jp

★町屋相談室

荒川区町屋5-3-5

Tel 3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。

※「横山区議」で検索して下さい。

旧真土小跡地・駅前開発はどうなる 区が「進出意向調査」結果発表



☆ホームから見た旧真土小
☆三河島駅前(上)



の進出意向

荒川区が、昨年8月から始めた旧真土小跡地活用に関する進出意向調査(企業アンケート)の結果を発表しました。結果、進出意向ありは、駅前の立地でもあり食品スーパー3社と商業住宅1社でした。大型店進出に学校跡地では話にもなりません。

確かにJR三河島駅北地区は、再開発の計画地域です。しかし旧真土小跡地は、区民の貴重な財産です。本来、企業への進出意向

調査でなく、区民の意向こそ聞くべきではないでしょうか。いま、区民の中では、介護保険施設(特養ホームなど)、保育はじめ子育て支援施設の整備などを求める願いが切実になっていきます。あらためて旧真土小跡地活用は、区民要望に沿った検討を求めたいと思います。

《ヒヤリングによる調査のまとめから抜粋》

- ①進出意向あり
食品スーパー3社、商業施設・住宅1社
- ②条件が合えば進出意向あり
温浴・宿泊1社、温浴・ｽｰﾌﾟｸﾗﾌﾞ1社
スポーツ用品店1社
- ③保留床と合わせて活用できれば進出意向
住宅3社
- ④区が施設整備すれば施設管理者として進出も
宿泊施設1社



少し寒さの和らいだ4月3日、恒例の「シダレザクラ祭り」が尾久の原公園で開催され、出かけてきました。植樹したときは、幼木でしたが、いまではしっかりと花をつけています。おそらく満開は、このニュースの発行日あたりでしょうか。当日は、午前、午後と公園の至る所でシートを敷いた家族連れ、ご近所、お仲間同士でのお花見が花盛りでした。この地域の枝垂桜も区民にだんだん知られ、区外にも聞こえているのでしょうか。いずれにしても全国の有名な枝垂桜は、樹齢何百年という古木があります。



「獅子舞」 シダレザクラ祭の一コマ

尾久の原の枝垂桜も今が盛り いつしか「花見」の名所になることでしょう

まちの話題あれこれ

★裏面もご覧下さい
失業時の国保料減額や
震災対策など

定例法律相談

5月10日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

区地域防災計画の修正内容を見る 「死者ゼロ」めざす減災計画の強化を



世界各地で大地震や津波が発生、甚大な被害が報じられてきました。東京もいつ大地震が起ころうともおかしくないといわれています。その対策を考える上で、荒川区の荒川区地域防災計画：平成21年修正の内容を見ておくことも大事です。この修正は、2006年の東京都防災会議が発表した、新たな被害想定に対応する計画として修正されました。横山区議も当時、最新の被害想定に基づいて新たな対策、特に被害を最低限に抑える減災計画を軸に据えるように求めました。

今回の被害想定修正は、全て増加しています
左表参照。

荒川区地域防災計画の修正 被害想定の変更(2009年)	
被害想定(全て増)	対応策
建物全壊 1,308棟→8,448棟	☆建物の耐震化(住宅:73%→90%)区立施設(89.9%→100%)など
焼失棟数の増 12,510棟→19,709棟	☆不燃化推進(対象地区・事業開始後10年間で耐火率70%) ☆細街路拡幅☆住宅用火災警報機設置推進☆区民・事業所の火災対応力強化
死者数 320人→338人 負傷者数 3,035人→3,326人	【減災目標】目標:死者数の半減 ☆建物耐震化☆家具転倒防止推進☆救出救護体制強化☆(焼失棟数増の対策と同じ)
避難者数 65,318人→109,782人 帰宅困難者数 29,746人→32,556人	【減災目標】目標:避難者数の減 目標:外出者早期帰宅 ☆建物耐震・不燃化推進、火災対応力強化(上記と同じ) ☆応急危険度判定の迅速化 ☆ライフラインの早期復旧・エレベーター早期復旧 ■備蓄対応 物資確保=食料は避難・帰宅困難者の1日分
避難所生活者数の増 42,000人→71,000人	○避難所の確保(都基準=1人当たり1.65㎡) 公共施設約6万人 校庭(約10万㎡)の野外収容2万人 災協定締結都市など ○トイレ確保 組立式トイレ580基備蓄(58,000人分) 避難所用=携帯簡易トイレの購入

木造建物の耐震化や不燃化の遅れが原因でしょう。細街路拡幅なども進んでいません。また2年前の評価で区内全丁目の61%が総合危険度ランク最高5と4となつています。この2年間でどう改善されたのか検証が必要です。

やはり密集市街地の改善、木造家屋の耐震化をまちづくりの中心に据えるべきではないでしょうか。

区政トピックス...

失業時の国保料の減額について

2009年3月31日以降に離職された方は、2010年度に限り国民健康保険料(税)が軽減されます。

○対象

(1) 雇用保険の特定受給資格者(例:倒産・解雇などによる離職)

(2) 雇用保険の特定理由離職者(例:雇い止めなどによる離職)として失業等給付を受ける方です。



○減額内容…国民健康保険料は、前年の所得で計算されていますが、前年の給与所得の3割相当額に減額して計算します。

○期間…離職の翌日から翌年度末までの期間。※国民健康保険に加入中は、途中で就職しても引き続き対象ですが、会社の健康保険に加入するなど国民健康保険を脱退すると減額は終了です。

○軽減を受けるには申請が必要です。

○保険料軽減措置の試算 (夫婦・子1人の場合)

前年の収入	国保料【現行】	【見直し案】
① 1,000万円	59.0万円	28.3万円
② 500万円	34.7万円	14.8万円(2割軽減)
③ 300万円	23.3万円	8.5万円(5割軽減)
④ 150万円	13.4万円(2割軽減)	4.8万円(7割軽減)



詳しくは、荒川区国保年金課資格係 3802-3111 内線2375~6



くらしの相談などお気軽に

最悪の雇用情勢、中小企業の単価切り下げや資金繰り悪化など深刻な事態が広がっています。医療、介護も深刻です。日本共産党区議団・横山区議は、法律等の専門家、医療・福祉関係者とも連携して相談活動を行っています。

電話 3895-0504
(横山事務所)

不在時は留守電に伝言を